

特別養護老人ホーム入所意見書

1 本人の状況

要介護度	要介護	1	2	3	4	5
問題行動	発生頻度	非常に多い 時々ある 少しある・稀にある なし				
	症状 (該当する行動を○で囲む)	1. 昼夜逆転 2. 暴言暴行 3. 大声を出す 4. 介護に抵抗 5. 常時の徘徊 6. 火の不始末 7. 不潔行為 8. 摂食異常 9. 自傷行為 10. その他()				

2 介護の状況

①居宅サービス利用限度額割合	60%以上	50%以上	40%以上	30%以上	30%未満
②居宅での介護期間	5年以上	4年以上	3年以上	2年以上	1年以上 1年未満
③介護施設等の入所期間	3年以上	2年以上	1年以上	1年未満	入所等なし

3 主たる介護者・家族等の状況

①世帯の状況	一人暮らし 二人暮らし その他 [世帯構成の記入]
②主たる介護者の続柄・年齢等	続柄() 年齢 歳 生年月日 T . S 年 月 日
③主たる介護者の心身の状況	心身の障がい： 無・有()
	※心身の障がいありの場合 介護困難 多少介護可能 介護可能
④主たる介護者の就労	無・有(職種等： 日/週、 時間/日)
	8時間以上 4～8時間(パート的就労及び農業等の補助的就労) 4時間未満
⑤家族が介護に従事する時間	1日中(8時間以上)の介護 半日程度(4～6時間)の介護 多少の介護時間あり なし
⑥主たる介護者の同居家族の状況	・同居する他の要介護者等を介護している ・就労等により日中家族不在 ・主たる介護者が乳幼児を育児 ・他の家族が入院、入所中 ・小、中学生の世話をしている (その他の状況：)
⑦他の要介護者等	無・有 続柄()(要支援, 要介護 1, 2, 3, 4, 5)
	有の場合 ・問題行動(非常に多い・やや多い・少しあり・なし) 問題行動の症状(該当する行動を○で囲む) ◎項目 1. 昼夜逆転 2. 暴言暴行 3. 大声をだす 4. 介護に抵抗 5. 常時の徘徊 6. 火の不始末 7. 不潔行為 8. 摂食異常 9. 自傷行為 ・居宅サービス利用限度額割合(60%以上・50%以上・40%以上・30%以上・30%未満) ・居宅における介護期間(5年以上・4年以上・3年以上・2年以上・1年以上・1年未満)

4 介護支援専門員等の入所への意見

入所申込者氏名 _____

意見書作成者氏名 _____

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日現在

所属先名称 _____

電話番号 _____

入所意見書作成者 様

特別養護老人ホーム成島園入所意見書の作成に係る留意事項について

この度は、入所希望者様の入所意見書の作成にご協力を賜り誠にありがとうございます。当該意見書の作成にあたっては、入所決定過程の透明性・公平性を確保するため、次に記載する留意事項をご確認いただき、ご理解の上、作成していただきたくお願いいたします。

なお、ご提出いただいた意見書の内容について、確認のためにご連絡させていただく場合があります。

○意見書の作成

意見書の作成は、山形県特別養護老人ホーム入所指針により次の方が作成してください。

居宅サービス利用中の場合	担当の介護支援専門員
医療機関に入院中の場合	ソーシャルワーカー等
施設に入所(居)中の場合	担当の介護支援専門員
その他	計画作成担当者等

1 本人の状況

○問題行動について

発生頻度	非常に多い	時々ある	少しある・稀にある
具体的な回数	ほぼ毎日	週に1~2回以上	月に1~2回程度

※意見書に記載以外の問題行動と思われる症状または特筆すべき精神症状等については、「4 介護支援専門員等の入所への意見」欄に記載してください。

2 介護の状況

①居宅サービス利用限度額割合	・各要介護度の支給限度基準額に基づき、平均的な利用度(直近3カ月)を算出してください。 ・申し込み時点において、医療機関に入院中の場合や介護老人保健施設、介護医療院、認知症対応型共同生活介護、特定施設入所者生活介護等に入所(居)している場合には「60%以上」としてください。
②居宅での介護期間	・要介護状態またはそれと同程度の状態のため現に居宅において介護をした通算の期間とします。 ・一人暮らしの場合には、要介護状態またはそれと同程度の状態となつてからの期間とします。 ・これらの期間について医療機関への入院や施設への入所(居)している期間は除きます。
③介護施設等の入所(居)期間	・介護老人保健施設、介護医療院、認知症対応型共同生活介護、有料老人ホーム等に入所(居)している通算の期間とします。 ・短期入所生活介護を継続的に利用している場合は、状況により入所期間に含める場合がありますので継続的に利用せざるを得ない状況、理由を「4 介護支援専門員等の入所への意見」欄に記載してください。

3 主たる介護者・家族等の状況

①世帯の状況	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関に入院中及び介護施設等に入所(居)している場合には、居宅に復帰した状況を想定し記載してください。 一人暮らし世帯には、入所申込者以外に高校生以下の者が同居する場合があります。また、介護者が長期入院等により、実質的に一人暮らしと認められる場合には、一人暮らしとします。 	
③主たる介護者の心身の状況	心身の障がい	「有」の場合には、障がい名や病名を記載してください。 「無」の場合には、 介護困難・多少介護可能・介護可能の選択は不要 です。
	介護困難	介護者が障がいや疾病のために 要介護者の排せつ、入浴、移動、着替え、食事などADL全般の援助が困難な場合。
	多少介護可能	介護者が障がいや疾病のために 要介護者の排せつ、入浴、移動、着替え、食事などADL全般の援助が2つ程度しかできない場合。
	介護可能	介護者に障がいや疾病はあるが、 要介護者の援助が可能 な場合。
④主たる介護者の就労	8時間以上	主たる介護者が世帯の生計維持の中心となっている場合かつ、会社員等においては、週5日以上及び週40時間以上の勤務に就労している場合、または、農業等の自営業の場合とします。
	4～8時間及び4時間未満	主たる介護者が生計維持のための補助的な就労をしている場合であり、会社員等においては、週5日未満及び週40時間未満の勤務の場合とします。農業等の自営業の場合には、主たる生計維持者の補助的な就労をしている場合とし、実際に就労している時間により記載してください。職種や1週間当たりの就労日数、1日当たりの就労時間についても記載してください。
⑤家族が介護に従事する時間	医療機関に入院中及び介護施設等に入所(居)している場合には、「なし」とします。 1日当たりの入所申込者に係る実際の介護従事時間とし、この時間には「見守り」の時間も含まれます。居宅サービスを利用している場合には、介護に従事する時間に含めませんが、利用頻度を考慮し判断してください。判断に迷う場合には、その状況等を「4 介護支援専門員等の入所への意見」欄に記載してください。	
⑥主たる介護者の同居家族の状況	項目が重複する場合には、 該当する項目全てを選択 してください。	
	同居する他の要介護者等を介護している	要介護者等には要支援者も含まれます。また、要介護認定を受けていない身体障がい者や知的障がい者等の家族を何らかの形で介護している場合には、その状況等を「4 介護支援専門員等の入所への意見」欄に記載してください。
	就労等により日中家族不在	主たる介護者も含め家族全員が就労しているため、入所申込者が日中一人になる状態が6時間以上継続する場合。
	主たる介護者が乳幼児を育児	入所申込者を介護しながら小学生未満の家族を世話している場合。
	小、中学生の世話をしている	入所申込者を介護しながら小学生や中学生の家族を世話している場合。
⑦他の要介護者等	要介護者の状況により、特記事項において評価する場合がありますので、正確な情報を記載してください。	

4 介護支援専門員等の入所への意見

現在の「ADL概要」「医療概要」「家族の介護拒否・虐待」「住環境の状況」「経済的状況」「問題行動・精神状況」等について記載してください。また、二人暮らし世帯においては、その世帯の状況を記載してください。

居宅における介護の継続の可否や、世帯構成において特に考慮すべき事項等の記載項目のない個別事情について記載してください。